



## TOPICS

### 令和2年9月議会報告

9月定例県議会が10月13日に最終日を迎え、**新型コロナウイルス感染症対策と経済活性化**などの事業を盛り込んだ補正予算案など、全ての議案が可決されました。新型コロナウイルス感染症対策と深刻な影響を受けた地域経済の活性化を促す事業などを盛り込んだ総額**533億円**余りの補正予算案などです。これにより現計予算と合わせた補正後の予算規模は**2兆1,009億71百万円**となります。

また、**ドクターヘリの安定的で持続的な運用への支援強化**を求める意見書や、**防災、減災、それに国土強靱化策の継続と拡充**を求める意見書の、2つの発議案も可決しています。

#### 私はこう考えます！

新型コロナウイルスにより非常に厳しい経済状況の中、千葉県としても茂原市としてもアフターコロナの新生活様式を見据え各方面で対応していくことが重要です。特に東京一極集中是正の観点から地方移住が進んでいます。わが地元茂原市においても移住を推奨する上で素晴らしい環境が整っています。令和6年度完成を目指す圏央道の全面開通、令和5年1月に予定されている外房有料道路の無料開放など交通網の発展が見込まれます。茂原市においては圏央道のインターが3か所位置していることから物流網の拠点や観光の観点としての魅力を発信し新たな移住を推進していく事が重要だと考えます。また地域の方々が安心して暮らせるよう引き続き一宮川流域河川、南白亀川水系赤目川の早期整備を進めるとともに救急医療体制の更なる構築に向けて活動して参ります。



## 活動報告

議会・委員会での質問の内容や、その他活動についてご報告いたします。

### ― 本会議への参加

9月：定例県議会（9月16日～10月13日）

- 令和2年度千葉県一般会計補正予算
- 報告（専決処分の報告、県が出資した法人の経営状況など）
- 決算認定

### ― 委員会への参加

9月：定例県議会健康福祉常任委員会（10月7日）

### ― 審議会への参加

千葉県国土利用計画地方審議会（10月22日）

## 健康福祉常任委員会での質疑応答に関して

### 病院局では赤字が30億となる見込み、その改善点に関して質問！

#### (質問) 市原

病院事業会計の決算見込みが約30億円の赤字となり、内訳として佐原病院が13億、循環器病センターが10億の赤字との報告があった。千葉県立病院新病院改革プラン次期改定に向けて作成中と思うが、ホームページ上に「千葉県立佐原病院経営改善支援コンサルティング業務」企画提案募集の審査結果について掲載されており、どのような提案がされているか。

#### (回答) 山本副参事兼経営企画戦略室長

佐原病院のコンサルティングについて、現在の患者動向に基づき病床数を変動した場合の検討や、地域の中核として行っている訪問看護や地域包括医療に主軸を置いた場合の経営状況改善の見直し等について経営分析したいという内容である。

#### (質問) 市原

佐原病院に関して、次期改革プランに反映していくという考えでよいか。



#### (回答) 山本副参事兼経営企画戦略室長

各病院で経営改善に向けた経営分析を行っているが、次期新改革プランの策定に合わせ、病院局において6病院総体を同一の方法でより深い経営分析を行う準備を行っている。6病院総体のより詳細な経営分析を行い、経営の見える化・指標化を目指していく。

#### (質問) 市原

千葉県循環器病センターでは特に医師確保の必要性があると考えますが、医師確保に関して、民間人材紹介会社の利用状況はどうか。また、契約の方法はさまざまだと思うが、現在も継続して利用しているのか教えて頂きたい。

#### (回答) 武内経営管理課長

民間人材紹介会社の利用状況であるが、民間人材紹介会社は、年間で契約し、現在も継続して利用している状況である。

#### (質問) 市原

民間人材紹介会社の利用状況の実績を教えてください。

#### (回答) 武内経営管理課長

令和2年度の9月末までの人材紹介会社を利用した医師の採用実績は、佐原病院で常勤1名、非常勤2名、がんセンターで非常勤が14名である。

#### (要望) 市原

新型コロナの関係で、都内では医師の流動性が高まっている。引き続き医師確保を目指してもらいたい。

### 山武長生夷隅医療圏においては周産期医療、小児救急医療が早期に整備必要!!

#### (質問) 市原

季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの判別を1検体からできるキットが出始めていると認識している。仮にこのキットを導入した場合、感染者数の増加が予測されることもあると思うが、その際に保健所対応等委託業者の搬送について、現在の搬送能力はどうか。

#### (回答) 館岡疾病対策課長

搬送の状況について、陽性者がホテル療養となった

場合、9月1日より業務を委託した事業者が行っている。医療機関に入院となり、座位が取れない場合、専門の民間救急事業者に委託している。座位が取れる場合は、原則保健所職員が搬送を行っている。

搬送車両については、感染を防御する仕組みを装備した車両で、10月1日現在27台無償貸与を受けている状況である。

#### (質問) 市原

本会議でも答弁があったが、色々な家族、家庭の事情によって自宅待機をしている方がいるとのことであったが、今後増えた場合に、無症状であれば自宅待機という項目を挙げるのか、県の見解を聞きたい。

#### (回答) 大野健康づくり支援課長

無症状及び軽症の方については、今後も宿泊療養を基本としていくが、それでもやむを得ず自宅で療養せざるを得ない方については、これまで同様、保健所において、毎日電話等により健康観察を実施し、必要に応じて医療機関の受診を促していく。

8月7日に厚生労働省より通知された自宅療養者に関する取り扱いに基づいて対応していく。

#### (要望) 市原

これから冬場になり季節性のインフルエンザの懸念もあるため、しっかりと対応をお願いしたい。

#### (質問) 市原

山武長生夷隅医療圏において、ある移住希望者からお話があったが、この地域においては、周産期医療、小児救急医療、この点に関して、千葉県の他の医療圏に比較して全く体制が整っていないという指摘を受けた。現状において、周産期母子医療センター、母体搬送ネットワーク連携病院ではなく、小児の救急医療集中ネットワークもない。

現状、二次救急として小児救急に関しては、受け入れる体制が難しい所もある。現在は、小児救急に関しては、圏外移送となり千葉県こども病院が受け皿になっている。

そういった中で、現在計画だと思うが、今後を見据えた中で、この2点、周産期母子医療、小児救急において山武長生夷隅医療圏内での整備に対する県の見解を聞かせてもらいたい。

#### (回答) 医療整備課長

山武長生夷隅医療圏において、小児の医療資源が乏しいことを認識している。そういった状況を踏まえて、小児の救急医療体制を補完すべく、隣接する医療圏で受け入れができるよう、毎夜間及び休日の受け入れる体制を整備している医療機関に対し、助成を行っている。周産期についても、同じように医療資源に関する課題があるということ認識しているが、隣接する医療圏で連携を図りながら、ハイリスクな分娩に対応している状況である。今後も、医療圏間の連携を進めながら、必要な医療体制を確保できるよう取り組んでいく。

#### (要望) 市原

周産期医療に関して、現在の産科医院は、出産数の減少により経営リスクを伴う、そういった点も考慮していただき県として安定した周産期母子医療の体制づくりを早めに対応していただくよう要望する。

小児救急に関しても、山武長生夷隅医療圏内で何とか受け入れられるような体制を整えていただくよう要望する。



# 県政報告

県議会で議題となった課題について、市原の目線からご報告いたします。

## — 千葉県がんセンター新棟竣工 10/26より診察開始

千葉県がんセンター新棟竣工式に健康福祉常任委員として出席しました。

新棟では、病床を341床から450床に増床し、ハイパーサーミア(温熱療法装置)新規導入や手術支援ロボット(ダヴィンチ)の増設など最新の設備が完備されています。

今や日本人の二人に一人ががんに罹患する時代に対応すべく入院だけでなく外来による化学療法等にも力が入れられています。

県民の皆様が充実した医療を受けられるよう千葉県のがん医療の中心病院として期待しております。



## — 一宮川流域治水に関して

一宮川流域河川の工事も着実に進んでいます。竹木伐採、土砂の浚渫と合わせて昨年の災害復旧事業として崩れた護岸整備もいたるところで行われています。



▲ 中の島小学校付近



▲ 折戸橋付近



### 市原あつし事務所

TEL 0475-36-7775

〒297-0022 千葉県茂原市町保7  
info@ichihara-atsushi.jp

市原あつし公式WEBサイト

<https://www.ichihara-atsushi.jp>

市原あつし で 🔍 検索



Facebook

市原あつし

で 🔍 友達検索

